

グランプリ 2nd 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2022 年日本陸上競技連盟の競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

(1)トラック競技の招集所は 100m スタート地点後方ゲートの外（競技場外）に設ける。フィールド競技の招集は全て現地とするが、招集所を通過して競技場内に入る。

(2)各種目の招集時刻は次のとおりとする。（時間に遅れた者は棄権とみなす）

トラック競技 (リレーを除く)	1～3組	競技開始15分前
	4～6組	競技開始5分前
	7～9組	競技開始5分後
	10～12組	競技開始15分後
リレー競技	1～2組	競技開始20分前
	3～4組	競技開始10分前
フィールド競技		競技開始30分前

(3)招集の方法については次のとおりである。

- ①トラック競技は招集時刻に招集所で競技者係の点呼を受け、腰ナンバーカードを受け取る。
- ②招集は必ず本人が行うこと。ただし、出場する競技の時間が重なる場合には、必ず「二種目同時出場届」を招集所に提出し、当該競技の審判員にもその旨を申し出て、指示に従うこと。
- ③棄権する場合は招集所に「棄権届」を提出する。

3. 競技について

(1)トラック競技について

- ①短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。
- ②トラック競技のゴール後はトラックを左回りに歩いてスタート地点に戻り、100m スタート地点後方のゲートより退場する。バックストレートの芝生部が小瀬に比べてだいぶ狭いので、走幅跳が行われているときは十分注意すること。

(2)フィールド競技

- ①競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ②携帯電話等、TR6.3.2 にかかわる機器は競技場内に持ち込むことはできない、
- ③小学生男女の走幅跳の試技は3回のみとし、トップ8は行わない。
- ④一般男女の走幅跳・投擲競技の試技回数は2回とし、トップ8の試技も2回とする。
- ⑤走高跳におけるバーの上げ方

種目		練習	バーのあげ方						
走高跳	男子	1m45	1m50	1m55	1m60	...	1m90	1m95	以降3cmずつ
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	...	1m50	1m55	以降3cmずつ

※気象条件等により変更する場合もある。

4. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、各種目とも胸部、背部の両面につけること。跳躍種目はどちらか片方でよい。

5. リレー競技

オーダー用紙はHPに掲載する。参加団体は事前に印刷し、当日各種目とも、競技開始の1時間前までに招集所に提出すること。

6. 競技場への入退場について

- (1)全ての競技者の競技場への入場は、招集所のみからとし、他ゲートからの入場を禁止する。
- (2)競技終了後、退場は第1ゲート(100m スタート後方)からとする。

7. 選手の競技場内（バックストレート）での練習について

入退場は100mスタート後方ゲートからとし、バックストレート開放時間は以下を基本とするが、競技会の準備や進行の妨げにならないよう注意し、競技役員・アナウンスの指示に従って安全に行うこと。競技時間がずれることもあるので周囲の状況を常に確認すること。

ただし、200mの競技中はスタート地点には近づかないこと。

7：30～12：15 全レーン

13：30～14：20 5～8レーン（ただし競歩のスタート時を除く）

8. その他

- (1)本大会における感染症対策については山梨陸協HPに掲載しているマニュアルに基づいて行う。各所属・各個人において熟読し、ルールを守り、マナーある行動をすること。
- (2)貴重品の管理については、各自で十分に注意し、盗難にあわないように努めること。
- (3)ごみは各団体で責任をもって持ち帰ること。